

平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月30日

上場取引所 名

上場会社名 東海エレクトロニクス株式会社
 コード番号 8071 URL <http://www.tokai-ele.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部本部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 大倉 慎
 (氏名) 森田 誠

TEL 052-261-3211

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	9,691	2.6	202	39.4	209	40.5	114	77.1
27年3月期第1四半期	9,444	1.5	145	24.9	148	19.3	64	39.7

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 209百万円 (136.8%) 27年3月期第1四半期 88百万円 (△41.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	10.66	10.51
27年3月期第1四半期	6.02	5.95

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	20,031	11,581	57.6
27年3月期	19,581	11,480	58.4

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 11,532百万円 27年3月期 11,430百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	9.00	—	10.00	19.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年 3月期の連結業績予想(平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,300	6.6	480	6.8	500	5.7	300	19.3	27.91
通期	43,700	4.5	1,120	4.8	1,150	0.9	690	16.1	64.19

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	11,801,316 株	27年3月期	11,801,316 株
28年3月期1Q	1,051,631 株	27年3月期	1,050,746 株
28年3月期1Q	10,750,191 株	27年3月期1Q	10,749,411 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善など景気は緩やかな回復基調となりましたが、海外景気の下振れなどによる景気の下押しリスクは払拭されておらず、依然として景気の先行きは不透明な状況で推移していくと思われま

す。このような経済環境のもと、当第1四半期連結累計期間より当社グループは各市場分野に対する取組強化とお客様に対する総合的な提案力の向上のため、営業組織体制を一部再編しました。また、世界でのビジネス拡大に向けて、ドイツのデュッセルドルフに駐在員事務所を開設し欧州地域でのビジネス拡大を見据えた情報収集活動をスタートしました。

当社グループは2014年度を初年度とする中期経営計画(Global Action 2016 : GA16)の2年目に入り、GA16のテーマである「1. Global Partnerとしての体制構築 ～技術商社として、かけがえのないパートナーに～」、「2. 自動車、環境・エネルギーそして医療など社会・生活基盤への一層の注力」に基づき、更なる成長を目指し品質及び技術力の向上を図り、技術商社としてより付加価値の高いソリューションを提供してまいります。

当社グループの業績における自動車分野ビジネスについては、国内はソフト開発受託が伸長したものの、お客様の国内生産が海外へ移管されたことなどにより厳しい環境となりました。一方、海外においては北米の自動車生産が引き続き好調であったことに加え、日本国内からの生産移管の対応などにより販売が堅調に推移し、自動車分野向け売上は前年同四半期を上回る結果となりました。情報通信分野ビジネスについて、東南アジア圏においてはOA機器等の生産が引続き堅調に推移しましたが、中華圏においてはモバイル機器等の受注が低調に推移しており、前年同四半期を下回る結果となりました。また、FA・工作機械分野ビジネスについては、お客様の中国市場向け需要の増加に加え、国内設備投資も堅調に推移しており、前年同四半期を上回る結果となりました。

その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は96億9千1百万円(前年同期比2.6%増)、営業利益2億2百万円(前年同期比39.4%増)、経常利益2億9百万円(前年同期比40.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1億1千4百万円(前年同期比77.1%増)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、デバイス・ソリューション中部・関西第1カンパニー、デバイス・ソリューション中部・関西第2カンパニー、システム・ソリューションカンパニーにおいて、管理区分の変更を行い、営業組織体制を市場分野別、およびお取引先基軸にて新たに編成しており、当該組織変更後のセグメントの区分に基づき比較しております。

○デバイス・ソリューション関東・甲信越カンパニー

情報通信分野においては、新興国向けの生産が増加したことにより販売は堅調に推移しましたが、環境分野における家電製品の生産調整による受注が減少したことに加え、自動車分野においても電気自動車(EV)用の電子部品販売が減少した結果、売上高は9億9千4百万円となり前年同四半期に比べ14.8%の減少となりました。

○デバイス・ソリューション中部・関西第1カンパニー

FA・工作機械分野において、中国向け設備機器の生産が増加したことに加え、医療分野においても検査機器需要が増加し販売が堅調に推移した結果、売上高は21億4千6百万円となり前年同四半期に比べ5.6%の増加となりました。

○デバイス・ソリューション中部・関西第2カンパニー

自動車分野において、お客様の国内生産が海外へ移管されたものの、ソフト開発受託が伸長したことにより、売上高は31億4千7百万円となり前年同四半期に比べ0.6%の微増となりました。

○オーバーシーズ・ソリューションカンパニー

情報通信分野において、中華圏では景気の停滞の影響によりモバイル機器等の関連部品販売が低調に推移しましたが、東南アジア圏では中華圏からのOA機器等の生産移管が進み売上は堅調に推移しました。自動車分野においても、米国市場の好調な景気に支えられた自動車生産の増加に伴い売上が堅調に推移しました。また、為替相場が前年同四半期と比べ大幅に円安となったことも寄与した結果、売上高は30億4千5百万円となり前年同四半期に比べ14.0%の増加となりました。

○システム・ソリューションカンパニー

F A・工作機械分野においては、国内設備需要の増加に伴う生産は好調に推移しましたが、環境分野における太陽光設備需要の低迷に加え、公共施設案件の受注が減少した結果、売上高は3億5千6百万円となり前年同四半期に比べ19.4%の減少となりました。

(2)財政状態に関する説明

資産・負債・純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は200億3千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億4千9百万円の増加となりました。主な要因は、売上債権が7億2千4百万円減少したものの、現金及び預金が5億1千4百万円、たな卸資産が6億3千9百万円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は84億4千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億4千7百万円の増加となりました。主な要因は、未払法人税等が2億1百万円、賞与引当金が5千4百万円、役員賞与引当金が7千8百万円など減少したものの、仕入債務が5億2千万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は115億8千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億1百万円の増加となりました。これは減少要因として配当金の支払1億7百万円がありましたが、増加要因として親会社株主に帰属する四半期純利益1億1千4百万円の計上に加え、その他有価証券評価差額金が5千1百万円、為替換算調整勘定が4千3百万円増加したことなどによるものであります。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年4月28日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,669,931	2,184,789
受取手形及び売掛金	10,155,139	9,488,129
電子記録債権	639,851	582,227
たな卸資産	2,817,899	3,457,527
その他	278,683	267,757
流動資産合計	15,561,506	15,980,431
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,915,840	1,915,840
その他(純額)	923,243	902,473
有形固定資産合計	2,839,084	2,818,314
無形固定資産	109,730	99,697
投資その他の資産		
投資有価証券	791,321	868,071
その他	280,356	264,502
投資その他の資産合計	1,071,678	1,132,573
固定資産合計	4,020,492	4,050,586
資産合計	19,581,999	20,031,017
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,819,340	7,339,764
未払法人税等	277,086	75,874
賞与引当金	164,645	110,118
役員賞与引当金	110,720	31,938
その他	283,834	436,112
流動負債合計	7,655,626	7,993,808
固定負債		
退職給付に係る負債	328,894	334,138
その他	117,413	121,368
固定負債合計	446,308	455,507
負債合計	8,101,935	8,449,315
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,075,396	3,075,396
資本剰余金	2,511,009	2,511,009
利益剰余金	6,404,173	6,411,305
自己株式	△413,918	△414,444
株主資本合計	11,576,659	11,583,266
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	336,292	387,548
土地再評価差額金	△662,775	△662,775
為替換算調整勘定	180,495	224,269
その他の包括利益累計額合計	△145,987	△50,957
新株予約権	49,391	49,391
純資産合計	11,480,064	11,581,701
負債純資産合計	19,581,999	20,031,017

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	9,444,069	9,691,235
売上原価	8,327,571	8,412,876
売上総利益	1,116,497	1,278,358
販売費及び一般管理費	971,441	1,076,135
営業利益	145,056	202,222
営業外収益		
受取利息	212	251
受取配当金	5,419	6,889
仕入割引	3,428	3,132
その他	1,030	1,171
営業外収益合計	10,090	11,444
営業外費用		
為替差損	6,315	4,321
その他	1	267
営業外費用合計	6,316	4,589
経常利益	148,830	209,078
税金等調整前四半期純利益	148,830	209,078
法人税、住民税及び事業税	47,546	82,374
法人税等調整額	36,549	12,065
法人税等合計	84,096	94,439
四半期純利益	64,733	114,638
親会社株主に帰属する四半期純利益	64,733	114,638

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	64,733	114,638
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51,268	51,255
為替換算調整勘定	△27,450	43,774
その他の包括利益合計	23,817	95,030
四半期包括利益	88,551	209,668
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	88,551	209,668
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					計
	デバイス・ソリューション 関東・甲信越 カンパニー	デバイス・ソリューション 中部・関西第 1カンパニー	デバイス・ソリューション 中部・関西第 2カンパニー	オーバーシーズ・ソリューション カンパニー	システム・ソリューション カンパニー	
売上高						
外部顧客への売上高	1,167,480	2,032,197	3,128,982	2,672,591	442,817	9,444,069
セグメント間の内部 売上高又は振替高	386,657	92,772	9,951	30,978	50,329	570,689
計	1,554,137	2,124,970	3,138,934	2,703,569	493,146	10,014,758
セグメント利益又は損失 (△)	98,424	79,668	148,890	6,254	△17,417	315,819

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	315,819
セグメント間取引消去	5,156
全社費用(注)	△175,919
四半期連結損益計算書の営業利益	145,056

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					計
	デバイス・ソリューション 関東・甲信越 カンパニー	デバイス・ソリューション 中部・関西第 1カンパニー	デバイス・ソリューション 中部・関西第 2カンパニー	オーバーシーズ・ソリューション カンパニー	システム・ソリューション カンパニー	
売上高						
外部顧客への売上高	994,823	2,146,336	3,147,581	3,045,790	356,703	9,691,235
セグメント間の内部 売上高又は振替高	531,133	75,354	29,071	40,619	4,572	680,750
計	1,525,956	2,221,690	3,176,653	3,086,409	361,276	10,371,985
セグメント利益又は損失(△)	136,742	92,369	146,116	60,589	△41,199	394,617

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	394,617
セグメント間取引消去	△10,230
全社費用(注)	△182,163
四半期連結損益計算書の営業利益	202,222

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、デバイス・ソリューション中部・関西第1カンパニー、デバイス・ソリューション中部・関西第2カンパニー、システム・ソリューションカンパニーにおいて、管理区分の変更を行い、営業組織体制を市場分野別、およびお取引先基軸にて新たに編成しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当該組織変更後のセグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

以上